



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

### News Pick Up !!

#### アジア土木学会連合協議会 (ACECC) のTC21がベトナムにおいて現地調査およびシンポジウムを実施



海岸浸食と台風被害により崩壊した Hay li 地区の教会

ACECCの21番目の技術委員会(Technical Committee: TC)であるTC21(共同議長: 竹内邦良, Romeo S. Momo)は、分野・部門横断的のアプローチ(Transdisciplinary Approach: TDA)による災害に強い

社会づくりの促進支援を目的として設立された。本会(JSCE)主導のもと、各国の防災体制や科学的知見に基づくDRR(Disaster Risk Reduction)の現状と参考事例の調査により、災害の根本的な原因や、防災の成功・失敗の要因を把握し、それを共有することを目指して活動している。

2018年4月9日から15日にかけて、ベトナム・ハノイで開催されたACECC理事会に合わせて、TC21会議および第3回国際シンポジウムを開催するとともに、現地防災関係者に対するヒアリングと現場視察を行った。海岸浸食被害が著しいナムディン省における現地調査では、被害の現状を確認するとともに、現地政府と災害軽減に関して協議した。また、国際シンポジウムでは、理事会や現地からの参加者を集めて、8ヶ国・地域よりTDAの事例が紹介され、活発な議論が行われた。

今後は、科学的知見を確実にDRRに反映させるためのTDAに基づく包括的な仕組みを検討し、防災の専門家でなくてもわかる成功の鍵となる要因や仕組み等を示した参考図書のドラフト

の作成を予定し、参加各国のDRRの改善提案や特定事例への適用を進めることにしている。

なお、今回のJSCEメンバーの活動は公益信託土木学会学術交流基金の助成により実施された。

#### 大石会長 欧州視察

2018年4月21日から27日にかけて、大石会長、上田副会長、ほか4名がドイツ工学会(ZDI)、バイエルン州住宅・建築・道路省、英国土木学会(ICE)を訪問した。ドイツでは、ZDIは基準やインフラ政策へ提言すること、その一方で教育機関との連携が少ないことをうかがった。またヘルマン会長のご案内で、ドイツの技術力を誇るアイブ湖とドイツ最高峰ツークシェピツェを結ぶロープウェイ建設現場を見学した。

英国では、ICE本部にてメア会長、ハリス会員部門担当、コール国際部門担当に迎えられ、社会経済を支えるインフラ整備・維持管理の重要性について活発に意見が交わされた。最後に、両学会会長がさらに交流を深めることを確認し、協力協定書(AOC)の更新にサインした。



ロープウェイ建設現場にて(左:ヘルマン会長)



AOCにサインをするメア会長と大石会長

### Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。

※国際センター事務局 e-mail: [iac-news@jsce.or.jp](mailto:iac-news@jsce.or.jp)

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>